

# 八戸市稲荷神社のモクゲンジの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県八戸市南郷区中野(稲荷神社境内)
名木の名称	モクゲンジ 推定樹齢 300年以上
名木の所有者	市沢 アイ
治療年月日	平成21年10月27日
樹木医による 名木の診断内容	<p>昨年の調査時点においては、衰弱は激しいものの治療が施せる段階で再生の可能性は高いと思っていたが、今年の治療段階時点で診断したときは、ナラタケ菌が全周近くまでと、根元から地上4mまでの主幹及び太枝に樹皮の下にナラタケの糸状菌が蔓延し、枯死に近い状態であった。</p> <p>普通、ナラタケ菌は根元から地上部1.2mほどまで寄生するが、これほど大規模一本の巨木に寄生したのは、前例がない。</p>
実施した治療内容	<p>治療にあたっては、ナラタケ病の罹病した範囲を確認するため、根元から表皮を剥離し樹皮下のナラタケ糸状菌の拡大範囲を確認した。</p> <p>その結果、前述のとおり幹周はほぼ全円に近くまでと、罹病の樹高は4.0m以上まで蔓延しているすべてを剥離し、殺菌剤を塗布したが時すでに遅くの状態であった。</p> <p>かろうじて、根元にひこばいが生きており、その周辺を中心に大掛かりな土壌の有機性を高めるとともに、活性炭も一緒に混合して万が一にでも新再根の発生を期待して、土壌改良工を実施した。改良工を実施する前には、根系の土壌に殺菌剤の散布も実施し残留ナラタケ菌の除去も実施した。</p>
今後の名木に対する留意事項	再生にはどの程度可能性があるか定かではないが、22年度の春に生育状態を観察して再度、治療の対策を検討する。



八戸市南郷区中野

稲荷神社のモクゲンジの木です。



治療中です。



ナラタケの糸状菌です。



全景です。